

「世界道路交通被害者の日、北海道フォーラム 2024」参加者の感想

※ 回答：23人（参加者数約50人）

フォーラムの内容について

◆大変良かった：16人 ◆良かった：5人 ◆普通：0人 ◆あまり良くなかった：1人

感想抜粋

- ★ 息子さんを亡くされ、大変辛い中、お話をして頂き、交通死傷ゼロへの思いと息子さんへの思いが充分伝わりました。ありがとうございました。
- ★ 法改正のポイント説明が有り難かったです。
- ★ 西田さんの話が、思いが伝わり論点が整理されていて、取り組むべき課題がわかりやすかった。
- ★ 交通死傷ゼロを願う人が参集した会議なので大変良かった。長期にわたる活動大変ご苦労様です。交通死傷ゼロに向けて、今後も活動強化を図って下さい。
- ★ ご子息を亡くされて半年足らず、悲しみが癒えない中での講話、胸に突き刺さる思いで聞いていました。自分も高齢者で、糖尿病患者ですので、改めて治療の大事さを思い知らされました。
- ★ 同じ子どもを持つ親の気持ちとして、西田様のお話は胸が締め付けられる思いでした。辛い中でも倅君と共に交通事故ゼロへの想いから立ち上がって下さった講演はしっかりと受け止めさせてもらいました。これからも交通事故ゼロに向けて一緒に頑張っていきたいと思っています。
- ★ 道警と北海道庁の説明で、取組の理解が出来ました。今後の具体的推進に期待しています。西田さんのお話深く感銘を受け、気持ちが引きしめる思いです。ご家族の方々、お身体大切にしてください。お話の中にもありましたが、運転者と歩行者の相互理解とゆずりあいの気持ちが大切。被害者の会の役員の方々のご苦労に感謝をし、日常生活の中で少しでも交通安全に努めたいと思います。
- ★ 飲酒、スピード違反だけでなく、服薬管理など、自分の体調を管理出来なければ運転を控えるべきだと強く思いました。
- ★ 西田さんのお話で大変胸を打たれました。ありがとうございました。真島さんの「人の命を大切にする。そんな日本社会にするべきだ」というお話も、もっと多くの人に聞いていただきたいと思いました。（北海道の会が）25年前からこうした活動を続けておられることに心からの敬意を表したく思います。ご家族、ご自身ともに大変辛い日々を過ごしながら声をあげ続けることが、どれだけ大変なことか……。察するに余りあるものがあります。しかし、そのおかげで生活道路の30キロ規制が実現したのだと思えました。本日は大変勉強になりました。まだまだ課題は山積しており、一朝一夕には社会は変わらないように思いますが、自分がハンドルを握る時は必ず今日のことを思い出したいと思います。
- ★ 西田さんのお話を聞き、今自分がしている仕事の中でもっと出来ることがあるのではないかと考える機会となりました。今日のお話は、自分止まりするのではなく、家族や職場の人にも伝え、交通事故・犯罪を無くしていくために、今までの当然を当然とするのではなく、諸外国の取組についても勉強しながら、どうすれば実現出来るかを考えていきたいと思いました。来年も是非参加させていただきます。
- ★ 資料が良かった。第1部の西田さんのお話は、とても心が痛み、突然被害者遺族となった自分の時の事も思い出しました。道環境生活部の歩行者と自転車の円グラフは、とても興味深く、特に65歳以上の方が全体の6~7割を占める結果は、年齢と共に状況判断力の欠乏、交通ルールを守らない等の本人の意識の低下が考えられ、自分もあと数年で高齢者となるので、きちんと交通ルールを守り生活しようと思いました。いのちのパネル展、長い間ありがとうございました。
- ★ 西田さんの話が、思いが伝わり論点が整理されていて、取り組むべき課題がわかりやすかった。第2部の主催者提言は、歩行者優先の理念が貫かれていて良かった。30キロ規制の内容が学べた。
- ★ 今まで、このようなイベントを見て見ぬ振りをしてきたことを反省しています。参加することができ、本当に良かったと思っています。本当に意味のある時間を過ごすことができました。悲劇を知り「かわいそうだ」で終わるのではなく、自分が未来に向けて何ができるのか、何をしたら良いのか、自分の生き方に意味を見いだせるよう、できることはやっていこうと、改めて考えさせられました。
- ★ 発表者の西田さんがとても冷静にご家族の想いや今回の事故の問題点を話されました。私自身も倅さんが搬送される救急車に同乗し、容態が変わっていく姿を目の前で見えておりましたので、西田さんの心中を痛いほど感じました。交通事故を無くすために、たくさんの方々動き、様々な取組が行われていることも分かりました。今後、事故で亡くなる方が少しでも減ってくれたら、と思います。